

令和7年度 学校経営方針

八戸市立大館中学校
校長 堀 合 貴

1 基本方針

学校は公教育の場であり、青森県教育委員会及び八戸市教育委員会の「学校教育指導の方針と重点」等を踏まえるとともに、教育目標の具現化のため、目指す生徒像として努力目標を設定し、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を図る。そして、生徒一人一人が生き生きと学校生活を送ることで、将来の夢や志の実現に向け、創造力豊かで未来をたくましく切り拓いていく礎を育てる学校経営を目指す。また、学校・家庭・地域社会それぞれが果たすべき役割を明確にし、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした地域ぐるみでの教育活動に努め、「地域とともにある学校づくり」に努める。

※生徒と「夢をはぐくむ」、教職員と「学校づくり」、保護者と「子育て支援」、地域住民と「地域・まちづくり」

2 校 訓 真理と美を追求せよ (真美)
常に努力 向上せよ (向上)
師を敬し 友を愛せよ (敬愛)

3 教育目標 自ら学び 心豊かで たくましい生徒

4 努力目標 よく考え 自分の意見を述べる生徒
相手の立場に立って考える生徒
はつらつと行動する生徒

5 学校経営方針

(1) 生徒の「人格形成」を基底とした教育活動

～人間としての成長と社会的自立への支援～

- ①生徒一人一人の内面的理解に努め、背景にある状況を全教職員で共通理解をする。
- ②生徒指導の4つの視点 (①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の育成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土を醸成) を生かした「魅力ある学校づくり」をする。

(2) 学び続ける教師集団 ～確かな学力の育成～

- ①「教育は人なり」と言われるように、校内研修及び校外研修を中心に自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨する教師集団を目指す。
- ②特別支援教育の視点を取り入れ、「わかった！できた！身についた！」が実感できる授業づくりを目指す。(ねらい・課題解決への発問の工夫・学習改善につながる振り返り)

(3) 信頼される学校運営 ～家庭と地域社会との温かい連携～

- ①積極的なボランティア活動を通して、ふるさとに誇りと愛着をもつ生徒を育てる。
- ②家庭や地域社会との連携・協働を図り、よりよい教育環境や支援体制の整備に努める。

6 令和7年度 学校目標

お互いのよさを認め、主体的に関わり共に高め合う生徒の育成

〔重点施策〕

- (1) 特別支援教育の視点や協働的に学ぶ場を取り入れた授業づくり (知育)
- (2) 学年・学級で安心できる居場所づくりと仲間との絆づくり (徳育)
- (3) たくましい心と体づくり (体育)
- (4) 開かれた学校・地域とともにある学校づくり ※新規 (地域密着型教育)

7 目指す学校像

- (1) 共に学び・鍛え合い、共に高め合う活気に満ちた学校
- (2) きまりと秩序が保たれているさわやかな学校
- (3) 生徒、保護者、地域住民に信頼される学校

8 学校経営スローガン

(禅 語)

挑 戦 ～ 知覚動考 (ともかくうごこう) ～

ち かく どう こう
「知 覚 動 考」

知って ⇒ 覚えて ⇒ 動いて ⇒ 考える
とも かく うご こう

